



新年あけましておめでとうございます。1月8日（水）に始業式があり、子どもたちが元気に登校しました。一部の学年を除いては仮設校舎でのスタートになりましたが、落ち着いて過ごす子どもたちを見て、日々の学習の積み重ねの大切さを改めて感じています。

14日より書き初め展（於万葉の郷、～1月31日）が開催されています。子どもたちの躍動感あふれる作品を是非ご覧ください。1日1日を大切に、子どもたちの「できた！」にたくさん出会える1年にしたいと思います。本年もどうぞよろしくお祈りします。

## 学校行事予定



### 令和6年度2月

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 3（月）高2現場実習（～7）                          | 20（木）中学部3年生を送る会 高2進路説明会        |
| 6（木）万葉の郷作品展（～20）                        | 21（金）11:40 下校                  |
| 12（水）小・中学部入学前個人面談（～14）<br>11:40 下校（～13） | 25（火）高等部入学者選考 在校生休業日           |
| 14（金）13:40 下校                           | 27（木）高2卒業生による進路懇談会<br>中1社会体験学習 |
|   | 28（金）中2社会体験学習                  |

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校 HP にてお知らせします。

いなみ野特別支援学校 HP

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QR コードはコチラ！ ⇒



## いなみ野の学習活動

## いなみ野アートプロジェクト

44年間ありがとうの気持ちを込めて、全校生で協力し校舎のあちらこちらに絵を描きました。12月10日神戸新聞朝刊には特集記事が掲載されました。また、当日はテレビ局、協賛のペンてるの方も取材に来られました。BANBAN テレビの「NEWS MEETS」という番組で12月20日から26日まで放映されました。学校では3学期の始業式の後にみんなで見ました。自分たちの活動の様子をじっと見入る子どもたちでした。



ちょっと

# ひとやすみ



「<叱る依存>がとまらない」

著 村中直人 出版 紀伊國屋書店

「悪いことをしたら叱るのが当たり前だ。」「叱られずに育った子はわがままで弱い子になる。」「叱ると怒るは別物。私は叱っているから大丈夫。」「叱ったら言うことを聞く。正しい指導をしている。」「いやいや、叱るのはよくない。たくさん褒めよう。」

「叱る」ことに関する様々な賛否両論が繰り返される昨今、皆さんはどのように考えられますか。

なぜ叱るのか、叱ることは結局よいのか悪いのか、叱られた子どもたちはどういう思考回路になるのか・・・普段から(叱りすぎるのもきっとよくないだろうな。)と思っている方も、信念を持って叱っていますという方も、是非ご一読を・・・。



## 支援のタネ



～高校卒業後に困ってしまう子どもたち～

高校のうちに身につけたいこと・・・

兵庫大学・兵庫大学短期大学部 障がい学生支援オフィスの剣物和弘先生のお話をお聞きする機会に恵まれました。大学入学後「それまで特に困っていなかった」子どもたちがたちまち困ってしまうケースが非常に多いとのことで、驚きでした。

**高校まで** → 「～でなければならない」「～して当たり前」「いろいろと決められ、できなかった時は声をかけてもらえる(提出明日やでー大丈夫かー?など)」友人関係もクラス中心。

**大学** → 自分に合ったペース、自分と合う人間関係、優先順位、臨機応変な対応、自己選択、自己決定の連続。

結果: 今までより課題が明確になり、社会での生きづらさが・・・

- 困ること(例)
- 履修登録が分からない
  - 休講、教室変更など急な変更戸惑う
  - 空き時間に何をするか分からない
  - いつまでにどの授業で提出があるのか把握できない
  - クラス単位ではないことで友人関係が難しく孤立。

発達障害のある学生への対応について 東北大学 学生相談・特別支援センター特別支援室 2021.10 より

高校生のうちに身につけたい力

相談する力(発信力をつける)

困ったときに「伝えれば助けてもらえた」経験を!!

